

## 平成14年度 愛知県障害者スポーツ大会



5月25日（土）、26日（日）、豊田市運動公園陸上競技場において「平成14年度 愛知県障害者スポーツ大会」が開催されました。

今年は天候には十分に恵まれ、2日間とも暑い日でした。

選手のみなさん、大会に協力いただいたスポーツ指導員、ボランティアのみなさん、ごくろうさまでした。

[写真集へ](#)

大会を終えて・・・

感想をいただきました

15年度 県大会の様子はこちらからどうぞ



## 大会写真集 陸上競技場の朝 (平成14年県大会)



午前7時を過ぎたばかりの陸上競技場。まだ誰もいません。今日は雲ひとつなく青空がひろがっています。暑くなりそうです。



もうすぐ、たくさんの方が集まってきます。なぜだかワクワクします。今朝は4時に目が覚めてしまいました。遠足に行く日の子どもみたいです。

### 大会を支えた人たち



一番にやってきたのは、大会のアナウンスを担当する野口さんでした。アナウンスで読み上げる文章を読んでもらい、点字版をつかってすばやく点字に変えていました。

さあ、準備開始です。  
障害急歩の準備は  
みんなで力を合わせて



午前9時

正面入り口が受付になります。  
早くしないと・・・  
もう選手が集まりはじめています。

足りないものはないですか？

「慌てず、笑顔で、丁寧に」が受付  
のモットーです。



毎年、選手招集場でプラカードをもって選手の誘導をしてくださるのは、  
日本ボーイスカウト愛知連盟豊田地区協議会とガールスカウト愛知県支部三河北地区協議会のみなさんです。  
今年も暑い中、ありがとうございました。



審判台を担当する指導員。炎天下に  
じっと座って・・・大変な担当で  
す。

たくさんの人々の力で大会が運営  
されています。



ブルーの帽子は日本福祉大学の学生  
ボランティアさん。毎年、遠く（知  
多郡美浜町）からたくさん来てくれ  
ます。

緑の帽子はトヨタボランティアセン  
ターのみなさん、ピンクの帽子は手

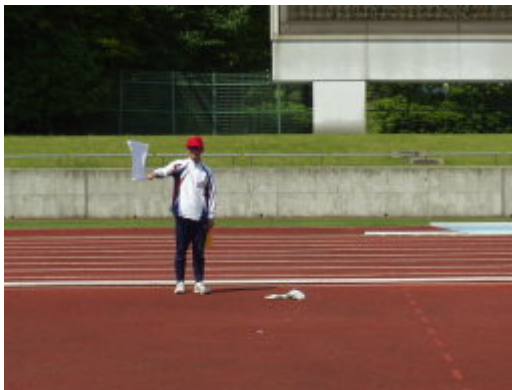
話通訳のみなさんです。  
(選手招集場にて)



毎年、定位置・定番のスタイルで  
競技進行を見守ります。

「こっちの方角です」

投てき競技に参加された視覚障害者  
の選手に投げる方向を示していま  
す。



愛知県庁 陸上部のみなさんも大会  
を支えてくださいました。

選手招集係

声をはりあげ、目を瞞って・・・

smile smile smile

わかってはいるのだけれど・・・

(y)



1500mに出場の選手2人  
緊張感を和らげるために・・・



「ぼくは始めて出場、  
きみは慣れているからいいね」  
「そんなことはないよ」  
なんて、おしゃべりしていました。

スタンドからは大声援。

選手も観客も力が入ります。



1周遅れでゴールイン

最後まで走りぬきました。

拍手 拍手 拍手

1年に一度、県大会でお会いするT  
さん。

今年も1500m、トラックを気持ち  
良さそうに走っていました。



県大会感想へ



本当に突然、「すみません、感想書いてください」と、当日何人かの見知らぬ方々に声をかけさせていただきました。

でも、みなさん快く引き受けてくださり、感想を寄せていただきました。ありがとうございました。

### 大会を終えて

・初級スポーツ指導員になって、豊田市陸上競技場で行われた障害者スポーツ大会に始めて参加させていただきました。とても暑い日になったので、ボランティアの人数の少ない競技種目は大変な様子でした。でも、ひとつずつ競技が終るごとに表彰があり、拍手を送ると選手の方々がうれしそうに「ありがとう」「ごくろうさん」と声をかけてくださって退場していかれました。その笑顔で暑さや疲れなど消えてとてもさわやかな気持ちになりました。この気持ちを忘れずにがんばっていきたいと思います。  
(横幕光永さん・スポーツ指導員)



学生のみなさんありがとうございました。

・参加者がとても楽しそうにしているのを生で見れたのも良かったし、自分自身も楽しく参加できました。  
・いろいろな人との関わりの場としてとても良い経験となり、聞こえなくても笑顔は大切だと実感し、一人一人が一生懸命やっていて励まされると同時に感動しました。  
・2回目の参加で、今回は聴覚障害の人がとても多くなっていて手話の必要性がますます大切だと思った。  
・様々な人たちとの交流から学ぶことがあった。

日本福祉大学、参加者一同

・ナンバーカードがわかりにくい。(文字がはっきりしていない。文字が小さい)  
・指示する方が多い。(統一されていない)  
・第1日目の集合時間が早い、10時か11時でもいいと思う。  
(県庁陸上部)

・競技の種目が申し込んだのとは違う種目になってしまった人が多く、少し不満の声を聞きました。  
・欠席者が招集係りまで伝わらず、欠席しているのに捜しまわったということが多かった。  
(杉浦美津代さん・手話通訳者)

・盛大な大会で、雰囲気を選手たちは味わうことができた、ありがとうございました。  
ひとつ気になったことは、招集後、競技場所に移動後、アップ、準備体操がまったくなかったことです。  
場所があまりそうしたことができないので、できれば競技係の人の声かけで少しでも準備体操をしてください。  
(引率教員)



みなさん、おつかれさまでした。

このスポーツ大会にボランティアとして参加させていただいて、自分自身の中で、いろいろなことを考えることができました。

僕は普段「障害者」と聞くと、どうしても「困っている人」というイメージを持っていましたが、この日に出会った方々は、それぞれの競技を一生懸命に楽しくやられていて、僕たちがお手伝いをしているというのを忘れてしまい、応援をしてしまうくらいとても熱気のある大会だったと思います。

特に印象に残っているのは視覚障害の方の60m走で音だけを頼りにまっすぐおもいきり走られている姿を見て大きな衝撃を受けました。僕の中にあっちは「障害者は困っている人」というイメージはなくなりました。また、今回一緒に奉仕活動をしたあるボーイのリーダーの方に「障害者は人数が少ないから特別な人になってしまうけれど、もし、健常者と呼ばれている人のほうが少なかったら、それは逆の扱いになるだろう」という話を聞きました。そのお話を含めて、この一日で自分が今まで障害者の方について一方的な考えをもっていたということに気がつきました。このようなことに気がついたのも大会に参加してたくさんの人と接することができたからだとおもいます。これからもできる限り参加させていただきその経験を他の活動へも活かしていきたいです。（ボーイスカウト豊田15団 ベンチャー隊・堤 元太郎

私は数年前から「愛知県障害者スポーツ大会」で活動させていただいています、ボランティアです。

今年も選手と接し、意気込みが感じられる「競技者係」を担当させていただきました。

毎年数件ですが、選手から受付の場所をたずねてこられます。運動公園に入り、私達のテントが目に入りますが、選手の受付が見当たりません。受付は、そこから見とうしのつかない地点にあります。

慣れていない選手は、心配です。そこで提案ですが、グートの入口に「矢印+選手受付」の掲示板を設置いただくと、良いと思います。

同じ会場ですので、毎年同じ物を使用できます。ご検討下さい。

（関根広司さん・トヨタボランティア）

- ・指導員の数が足りなかった時の対応をもっとスムーズにやって欲しい。
- ・フライングディスクは参加人数が増え大変だった。指導員の中にも障害者FDの資格をもっている人がいるので、最大限に使い、ピットを増やす等してほしい。朝が早いうえに長時間太陽の下にいるのは疲れる。
- ・主任の人がいない時は、すぐに他の人が対応できるように欲しい。
- ・指揮をとる人は各業務一人がいい。何人もいるとかえってこんがらがる。
- ・帽子の色をボランティアの種類ではなく、係りの種類で分けたほうが選手にわかりやすいし、「何色の人に聞けばわかる」といったことがわかり

やすいと思う。

・自分の知っている選手が出場し、選手と一緒に楽しめた大会だった。  
(S. Aさん・スポーツ指導員)



ボランティア活動を通じて、障害者とのふれあいを多く持つように努力しています。まだ理解と認識の甘さがありますので、自分なりにがんばっていきたいと思います。役員の方はご苦勞様ですが、参加者を見ると楽しんでいる方が多く見受けられます。今後ともこのようなふれあいの場を拡大してください。喜んでお手伝いいたします。

(市川勝治さん・トヨタボランティア)

みなさん、ありがとうございました。  
また、来年お会いしましょう。楽しみにしています。  
[県大会写真集へ](#)

